



令和元年 11月27日  
第十一管区海上保安本部

## 夏季安全推進活動期間中の海難発生状況（速報値） ～ 遊泳中・釣り中の事故が増加～

夏季安全推進期間中（7月1日から10月31日までの4ヶ月間）のマリンレジャー活動に伴う海難の発生状況（十一管区内速報値）は次のとおりであり、遊泳中及び釣り中の事故が昨年と比べ増加しました。

### ○プレジャーボート等※1の船舶事故

- ◆ プレジャーボート等の船舶事故隻数：15隻（死者・行方不明者：0人）  
★昨年に比べ4隻増（死者・行方不明者は同数）  
➤ 海難種類別では、運航不能※2が7隻で最も多い。

### ○マリンレジャー活動に伴う人身事故

- ◆ 人身事故者数：57人（死者・行方不明者：15人）  
★昨年に比べ5人増（死者・行方不明者は同数）  
➤ 活動内容別では、遊泳中が20人、釣り中が7人で増加。

※1 「プレジャーボート等」とは、プレジャーボート（モーターボート、ヨット、カヌー、水上オートバイ等）及び遊漁船をいいます。  
※2 「運航不能」とは、機関故障、舵障害など船舶の運航に必要な設備の故障等により、航行に支障が生じたことをいいます。

## 今後の事故防止に向けて

今期のプレジャーボート等の船舶事故では、運航不能によるものが多く発生しており、そのうち機関故障が3隻、うち2隻については、いずれもインペラの老朽衰耗によるものでした。

また、マリンレジャー活動に伴う人身事故では、県内在住者の遊泳中や釣り中の事故が多く発生し、遊泳中や釣り中の死者については、**全員がライフジャケットの非着用者**でした。

加えて、台風の強風圏外や通過後であっても、波浪注意報が発表されている中で事故が認められるなど、台風や低気圧の影響と思われる事故も発生しました。

今後、当管区本部は、主に以下の事項を県内外に呼びかけ、安全意識の啓発を行っていくこととします。

### ○メンテナンス不足による事故防止対策の推進

定期的な点検整備の実施、発航前の機関や燃料等の点検の実施

### ○遊泳中やスノーケリング中における事故防止の一層の推進

ライフジャケットの着用、事前の気象海象情報の入手、器具の取り扱いの熟知  
遊泳場所の安全性の確認（特に遊泳禁止区域には入水しない。）  
離岸流発生の可能性

### ○台風接近・通過後の事故防止の啓発の推進

事前の気象海象情報の入手

### ○釣り中の事故防止対策の推進

ライフジャケットの着用、危険な場所での釣りの禁止、事前の気象海象情報の入手

海上保安庁では、海の総合安全情報サイト「Water Safety Guide」を設け、マリンレジャー愛好者に各レジャーの安全に必要な知識やルールを紹介しています。そのほか、Twitter 及び Youtube においても広く事故防止を呼びかけています。

トップページ

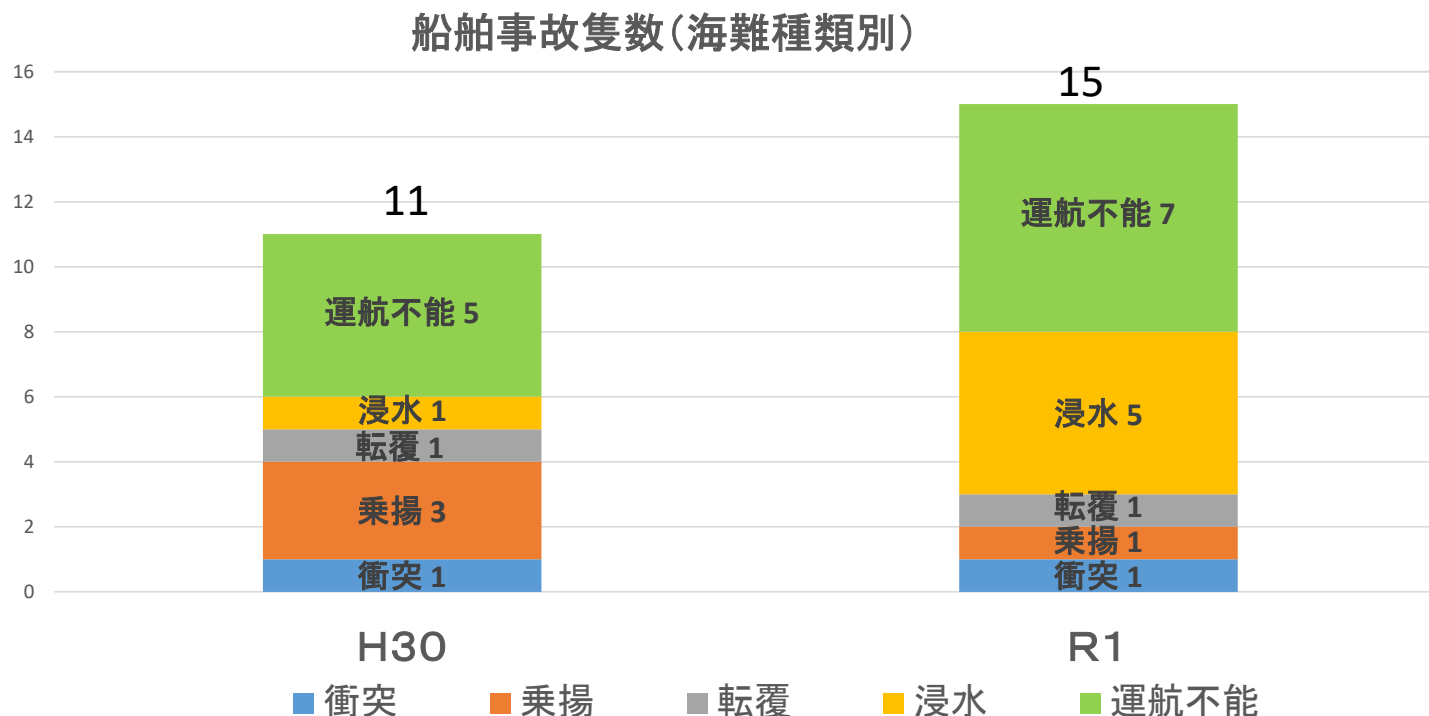
遊泳編

釣り編



[https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00\\_totalsafety.html](https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html)

## プレジャーボート等の船舶事故の発生状況（海難種類別） 7月～10月



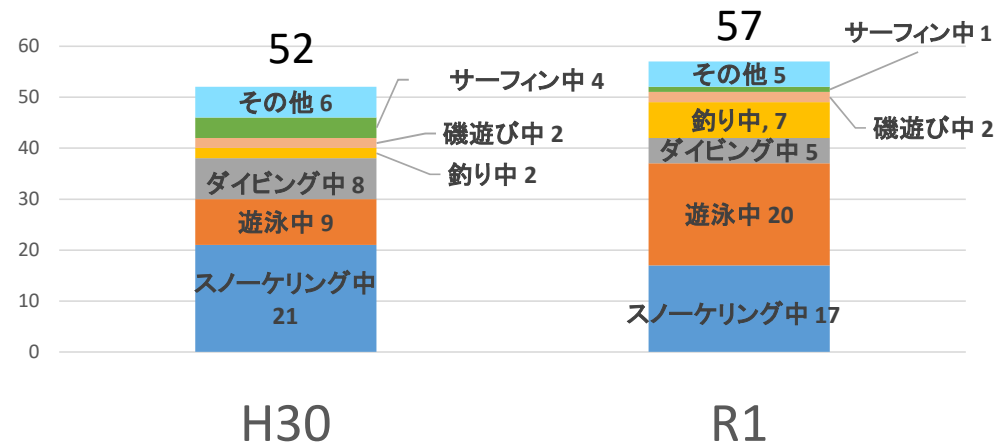
○運航不能の詳細では、機関故障3隻、操船技能不足2隻、推進器障害が1隻、無人漂流が1隻となっている。

### 【船舶事故事例】

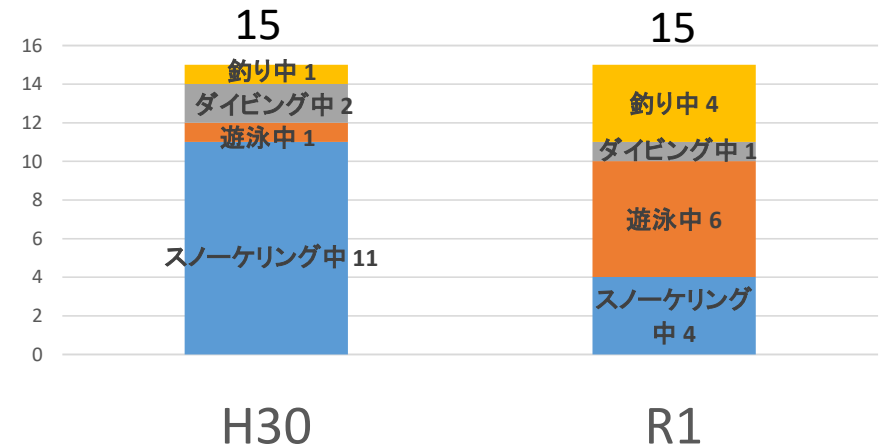
- 8月29日、事故船舶の船長は、釣り中にエンジンの始動を試みたが起動できず、冷却水の排水が無いことを認め、冷却水ポンプを調べたところ、ポンプ内部のインペラ(羽根車)が破損していることを確認しました。その後、エンジンの起動が困難なことから、僚船により曳航救助されました。

# マリンレジャー活動に伴う人身事故の発生状況（活動内容別） 7月～10月

事故発生状況(活動内容別)



死者・行方不明者数(活動内容別)



■ スノーケリング中   ■ 遊泳中   ■ ダイビング中   ■ 釣り中  
■ 磯遊び中   ■ サーフィン中   ■ その他   ■ スノーケリング中   ■ 遊泳中   ■ ダイビング中   ■ 釣り中  
■ 磯遊び中   ■ サーフィン中   ■ その他

○遊泳中の事故では、帰還不能が10人と最も多く、次いで溺水が9人となっている。

## 【死者を伴う人身事故事例】

●7月21日、事故者は知人家族と計40名でBBQや遊泳等を楽しんでおり、砂を落とすため友人と入水したところ、何らかの原因により溺れ、うつぶせで浮いているところを友人が発見しました。その後、事故者は救助されるも搬送先の病院で死亡が確認されました。